

2008年 9 月28日 実施

平成20年度（第39回）  
情報処理検定試験  
〈プログラミング部門〉  
第2級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は、COBOL・イベント駆動型 BASIC のどちらか 1 つを選択し、解答用紙の選択言語を  で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の101と10進数の3の積を表す2進数。
2. 手書きや印字された文書を光学的に読み取り、文字データとして入力する装置。
3. 通信ケーブルで接続された特定地域を対象に、多様なサービスを提供するテレビ放送システム。
4. ディスプレイ装置やプリンタで文字や画像を構成する最小単位の点。
5. ファイルの種類を見分けるために、ファイル名の末尾に付けられたピリオド以降の文字列。

解答群

ア. ADSL	イ. ドット	ウ. 1000	エ. セクタ	オ. OCR
カ. 拡張子	キ. OMR	ク. 1111	ケ. CATV	コ. ワイルドカード

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

A群

1. アクセスアーム
2. ANSI
3. イン트라ネット
4. ルートディレクトリ
5. CMYK

B群

- ア. インターネットの技術を用いて構築された構内ネットワーク。
- イ. ファイルを階層構造で管理するとき、あるディレクトリの下位に作成されるディレクトリ。
- ウ. 磁気ディスク装置内にあり、データの読み書きを行う部分を、目的の位置に移動させるための部品。
- エ. 日本国内における工業製品の統一規格の名称。
- オ. カラー印刷で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの混合比率を変化させた色の表現方法。
- カ. 磁気ディスク装置内にあり、データの読み書きを行う部分。
- キ. アメリカ国内における工業製品の規格の標準化を行う団体の名称。
- ク. 光の三原色と呼ばれ、ディスプレイ装置、デジタルカメラなどにおける色の表現方法。
- ケ. 電子メールやスケジュール管理、電子掲示板などの機能を使って、共同作業を効率よく進めるためのソフトウェア。
- コ. ファイルを階層構造で管理するとき、最上位にあるディレクトリ。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 著作権などのように、人間の創作活動から生まれたものを保護するための権利の総称。
 

ア. 肖像権	イ. 知的財産権	ウ. 個人情報保護法
--------	----------	------------
2. ソフトウェアの不具合などを修正し、新しい状態に書き換えること。
 

ア. アップデート	イ. アップロード	ウ. ダウンロード
-----------	-----------	-----------
3. 学校や企業などが、複数のコンピュータで使用するソフトウェアの契約を組織単位で行うこと。
 

ア. サイトライセンス	イ. シェアウェア	ウ. フリーウェア
-------------	-----------	-----------
4. ブラウザで標準的にサポートされており、256色以下の静止画像を扱うことができるファイル形式。
 

ア. MPEG	イ. CSV	ウ. GIF
---------	--------	--------
5. コンピュータのデータを、不意の破損や消失に備えて複製し保存すること。
 

ア. ファイアウォール	イ. バックアップ	ウ. セキュリティホール
-------------	-----------	--------------

## 【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) COBOLやC言語で作成されたプログラムを、機械語に変換すること。
- (2) 完成したプログラムを、実際のデータを使用して実行すること。
- (3) 数値データを記憶すべき場所に、数値以外のデータが含まれていないかを調べること。

## 解答群

ア. コーディング

イ. トレース

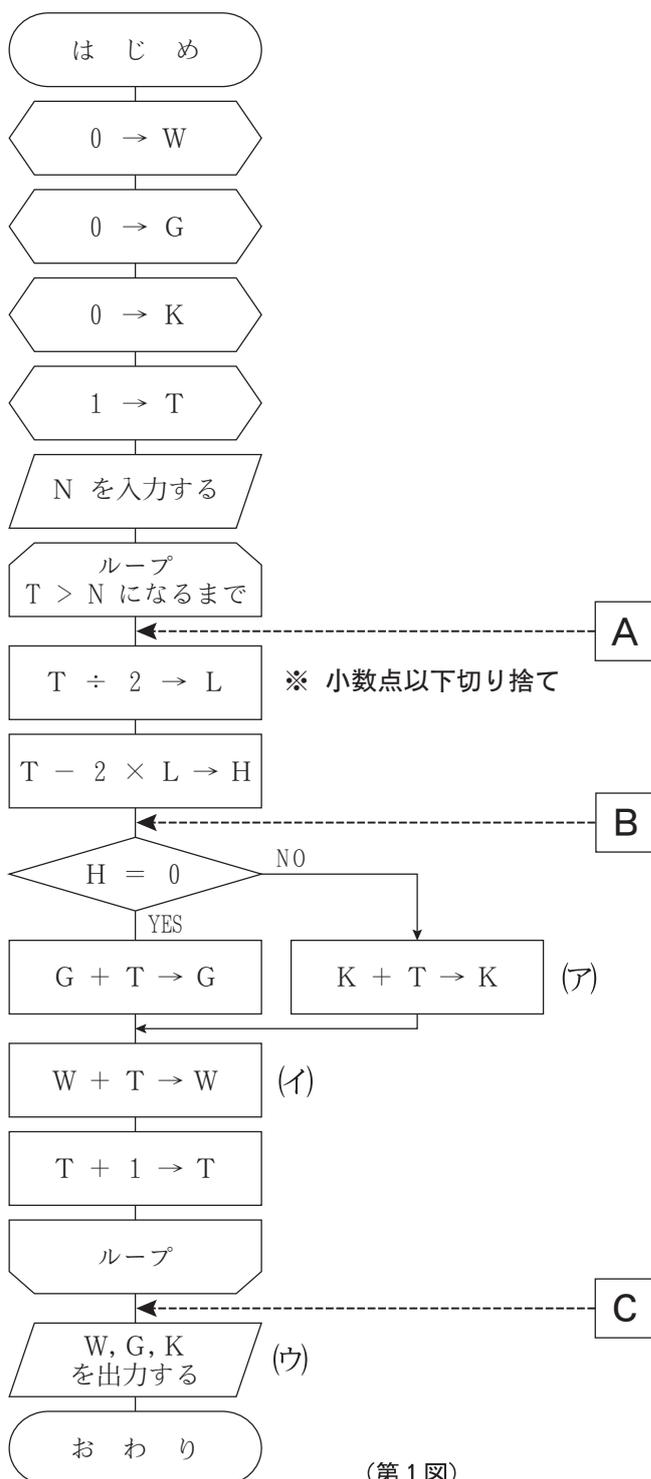
ウ. コンパイル

エ. ニューメリックチェック

オ. ラン

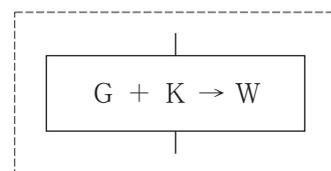
カ. リミットチェック

問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)~(3)に答えなさい。なお、入力するNの値は、1以上の整数とする。



(第1図)

- (1) Nの値が5のとき、(ア)は何回実行されるか答えなさい。
- (2) Nの値が8のとき、(ウ)で出力されるGの値はいくつか答えなさい。
- (3) (イ)の処理を削除しても(ウ)で出力されるWの値が変わらないように、第2図の [ ] で囲まれた処理を追加したい。[A] ~ [C] のどこに追加すればよいか、A~Cの記号で答えなさい。



(第2図)

[COBOL選択者のための問題]

2008.09 2-③

【5】 第1図の50m走と立ち幅跳びの記録ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

(ファイル名: SPORTS-F, レコード名: SPORTS-R)

選手番号 (S-BAN) ×××	50m走 (S-50) ××.×	立ち幅跳び (S-TATI) ×××
------------------------	------------------------	--------------------------

(第1図)

処理条件

- 第1図のファイルを読み、第2図のように選手番号から立ち幅跳びまでの記録を印字する。
- ファイルを読み終えたあと、50m走と立ち幅跳びの最高記録と平均記録を印字する。なお、平均記録は、次の計算式で求める。

$$\text{平均記録} = \frac{\text{記録の合計}}{\text{人数}}$$

(小数第2位以下切り捨て)

- 入力データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. NIN-KEI + 1
- イ. S-50 >= SAIKOU-50
- ウ. MOVE GOUKEI-TATI TO SAIKOU-TATI
- エ. GOUKEI-50 / NIN-KEI
- オ. GOUKEI-50 + GOUKEI-TATI
- カ. GOUKEI-TATI
- キ. SAIKOU-50 / NIN-KEI
- ク. MOVE S-TATI TO SAIKOU-TATI
- ケ. S-50 <= SAIKOU-50
- コ. MEISAI-GYO

```
FILE SECTION.
FD SPORTS-F.
01 SPORTS-R.
   02 S-BAN          PIC X(03).
   02 S-50          PIC 9(02)V9.
   02 S-TATI        PIC 9(03).
   }
WORKING-STORAGE SECTION.
01 E-FLG           PIC 9(01).
01 SAIKOU-50      PIC 9(02)V9.
01 SAIKOU-TATI    PIC 9(03).
01 GOUKEI-50      PIC 9(05)V9.
01 GOUKEI-TATI    PIC 9(06).
01 NIN-KEI        PIC 9(03).
01 MEISAI-GYO.
   02              PIC X(05) VALUE SPACE.
   02 M-BAN        PIC X(03).
   }
01 M-SAIKOU-GYO.
   02              PIC X(21) VALUE SPACE.
   02 M-SAIKOU-50  PIC Z9.9.
   02              PIC X(13) VALUE SPACE.
   02 M-SAIKOU-TATI PIC ZZ9.
01 M-HEIKIN-GYO.
   02              PIC X(21) VALUE SPACE.
   02 M-HEIKIN-50  PIC Z9.9.
   02              PIC X(13) VALUE SPACE.
   02 M-HEIKIN-TATI PIC ZZ9.9.
```

出力形式

(ファイル名: INJI-F, レコード名: INJI-R)

(出場選手記録一覧表)		
(選手番号)	(50m走(秒))	(立ち幅跳び(cm))
101	7.8	225
102	7.4	238
}	}	}
360	8.1	204
(最高記録)	7.3	238
(平均記録)	7.9	210.5

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

HAJIME.

```
OPEN INPUT SPORTS-F OUTPUT INJI-F
INITIALIZE E-FLG GOUKEI-50 (1) NIN-KEI
MOVE 99.9 TO SAIKOU-50
MOVE ZERO TO SAIKOU-TATI
PERFORM UNTIL E-FLG = 1
  READ SPORTS-F
  AT END
    MOVE 1 TO E-FLG
  NOT AT END
    MOVE S-BAN TO M-BAN
    MOVE S-50 TO M-50
    MOVE S-TATI TO M-TATI
    WRITE INJI-R FROM MEISAI-GYO AFTER 1
    IF (2)
      THEN MOVE S-50 TO SAIKOU-50
    END-IF
    IF S-TATI >= SAIKOU-TATI
      THEN (3)
    END-IF
    COMPUTE NIN-KEI = (4)
    COMPUTE GOUKEI-50 = GOUKEI-50 + S-50
    COMPUTE GOUKEI-TATI = GOUKEI-TATI + S-TATI
  END-READ
END-PERFORM
MOVE SAIKOU-50 TO M-SAIKOU-50
MOVE SAIKOU-TATI TO M-SAIKOU-TATI
WRITE INJI-R FROM M-SAIKOU-GYO AFTER 1
COMPUTE M-HEIKIN-50 = (5)
COMPUTE M-HEIKIN-TATI = GOUKEI-TATI / NIN-KEI
WRITE INJI-R FROM M-HEIKIN-GYO AFTER 1
CLOSE SPORTS-F INJI-F
STOP RUN.
```

[COBOL選択者のための問題]

【6】 第1図のようなある旅行会社の1か月分の海外旅行キャンセル内容を記録したファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。第6図の流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

旅行先 (K-RYOKO)	キャンセル日数 (K-CAN)	旅行代金 (K-KIN)	事情 (K-JIJO)
×~×	××	×~×	×~×

処理条件

(第1図)

(1) キャンセル料率は第3図のとおりとする。なお、キャンセル日数は最大で99日とする。

キャンセル日数	キャンセル料率
30日前~99日前まで	無料
15日前~29日前まで	旅行代金の 5%
3日前~14日前まで	旅行代金の 20%
1日前~2日前まで	旅行代金の 50%
当日	旅行代金の100%

(第3図)

(2) 第3図をもとに、第4図の各テーブルには値が記憶されており、各テーブルは添字で対応している。

(3) 第1図のファイルを読み、キャンセル日数をもとに、第4図のテーブル KESI-T を探索する。該当する添字を求め、テーブル RITU-T を利用して、次の計算式でキャンセル料金を求め、第2図のように印字する。

$$\text{キャンセル料金} = \text{旅行代金} \times \text{キャンセル料率} \div 100$$

テーブル KESI-T

	(当日)	(1~2日前)	(3~14日前)	(15~29日前)	(30~99日前)
KESI	0	2	14	29	99
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

テーブル RITU-T

RITU	100	50	20	5	0
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第4図)

(4) 第1図の事情をもとに、第5図のテーブル JIJO-T を探索し、その事情ごとにテーブル SYU-T に人数を集計する。

なお、事情は6種類あり、あらかじめテーブル JIJO-T に値が記憶されている。また、第5図の各テーブルは添字で対応している。

テーブル JIJO-T

JIJO	旅行先事情	仕事の都合	~	その他
	(1)	(2)		(6)

テーブル SYU-T

SYU			~	
	(1)	(2)		(6)

(第5図)

(5) ファイルを読み終えたあと、キャンセル料金の合計および事情別キャンセル状況を印字し、処理を終了する。

(6) 入力データにエラーはないものとする。

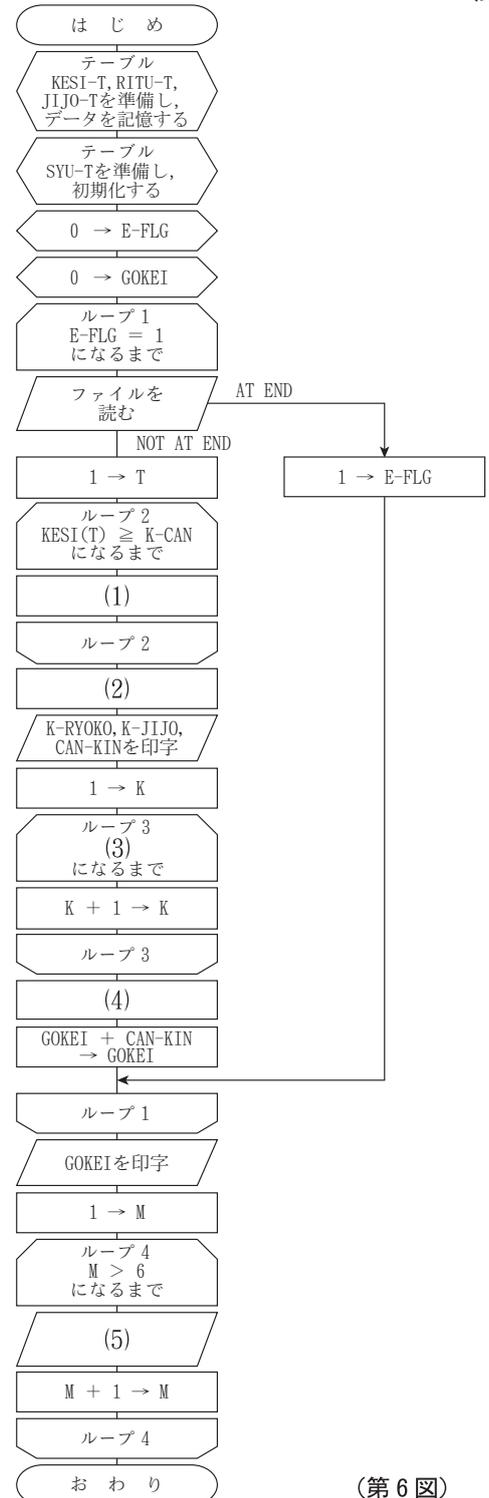
出力形式

(キャンセル料金計算表)		
(旅行先)	(事情)	(キャンセル料金)
イタリア	仕事の都合	28,600
}	}	}
ゲアム	その他	18,300
	(合計)	869,200

(事情別キャンセル状況)	
(事情)	(人数)
旅行先事情	22
仕事の都合	38
}	}
その他	33

(第2図)



(第6図)

解答群

- ア.  $T + K-KIN \rightarrow T$
- イ.  $K-KIN \times RITU(T) \div 100 \rightarrow CAN-KIN$
- ウ.  $SYU(K) + 1 \rightarrow SYU(K)$
- エ.  $T + 1 \rightarrow T$
- オ. K-JIJO, SYU(M)を印字
- カ.  $JIJO(K) < K-JIJO$
- キ. JIJO(M), SYU(M)を印字
- ク.  $SYU(M) + 1 \rightarrow SYU(M)$
- ケ.  $K-KIN \times K-CAN \div 100 \rightarrow CAN-KIN$
- コ.  $JIJO(K) = K-JIJO$

【7】 第1図のようなある観光施設の入場者数ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名: KIROKU-F, レコード名: KIROKU-R)

月 (TUKI) ××	日 (HI) ××	曜日コード (COD) ×	大人人数 (NINO) ××××	こども人数 (NINK) ××××
-------------------	-----------------	---------------------	------------------------	-------------------------

(第1図)

出力形式

(ファイル名: OUT-F, レコード名: OUT-R)

(曜日別入場者数集計表)			
(曜日)	(大人人数)	(こども人数)	(判定)
日	4,314	5,134	○
月	1,591	2,478	
}	}	}	}
金	3,562	2,432	
土	2,849	5,298	○
(全入場者数に対するこども総計の割合(%))			
			45
(次週以降のこども向けイベント開催予定数)			
			3

(第2図)

処理条件

(1) 曜日コードは1~7であり、曜日コードを添字として、第3図のテーブル YOUBI-TBL に曜日が記憶されている。

テーブル YOUBI-TBL

YOUBI	日	月	~	金	土
	(1)	(2)	~	(6)	(7)

(第3図)

(2) 第1図のファイルを読み、第4図のテーブル OTONA-TBLに大人人数を、テーブル KODOMO-TBLにこども人数を、それぞれ曜日コードを添字として集計する。なお、第3図と第4図の各テーブルは、それぞれ添字で対応している。

テーブル OTONA-TBL

OTONA			~		
	(1)	(2)	~	(6)	(7)

テーブル KODOMO-TBL

KODOMO			~		
	(1)	(2)	~	(6)	(7)

(第4図)

(3) ファイルを読み終えたあと、第2図のように曜日別入場者数集計表を印字する。なお、判定には、こども人数が3千人以上の場合に「○」を表示し、それ以外は何も表示しない。

(4) 最後に、総計(全入場者数)に対するこども総計の割合(%)と次週以降のこども向けイベント開催予定数を印字する。なお、割合(%)は次の計算式で求める。

$$\text{割合(\%)} = \frac{\text{こども総計} \times 100}{\text{総計}}$$

また、イベント開催予定数は判定の「○」の数である。

(5) 入力データにエラーはないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

        )
01  OTONA-TBL.
02  OTONA          PIC 9(05) OCCURS 7 TIMES.
01  KODOMO-TBL.
02  KODOMO        PIC 9(05) OCCURS 7 TIMES.
01  MEISAI.
02  M-YOUBI       PIC X(02).
02                PIC X(11) VALUE SPACE.
02  M-OTONA       PIC ZZ, ZZ9.
02                PIC X(10) VALUE SPACE.
02  M-KODOMO      PIC ZZ, ZZ9.
02                PIC X(07) VALUE SPACE.
02  M-HANTEI     PIC X(02).
01  WARI-GYO.
02                PIC X(41) VALUE SPACE.
02  M-WARI       PIC ZZ9.
01  EVENT-GYO.
02                PIC X(43) VALUE SPACE.
02  M-EVENT      PIC 9.
    
```

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT KIROKU-F OUTPUT OUT-F
    INITIALIZE FLG OTONA-TBL (ア) SOKEI KOSOKEI CNT
    PERFORM UNTIL FLG = 1
        READ KIROKU-F
        AT END
            MOVE 1 TO FLG
        NOT AT END
            COMPUTE OTONA(COD) = (イ)
            COMPUTE KODOMO(COD) = KODOMO(COD) + NINK
        END-READ
    END-PERFORM
    PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1 UNTIL J > 7
        MOVE YOUBI(J) TO M-YOUBI
        MOVE OTONA(J) TO M-OTONA
        MOVE KODOMO(J) TO M-KODOMO
        IF (ウ)
            THEN
                MOVE "○" TO M-HANTEI
                COMPUTE CNT = CNT + 1
            ELSE
                MOVE SPACE TO M-HANTEI
        END-IF
        WRITE OUT-R FROM MEISAI AFTER 1
        COMPUTE SOKEI = SOKEI + OTONA(J) + KODOMO(J)
        COMPUTE KOSOKEI = KOSOKEI + KODOMO(J)
    END-PERFORM
    COMPUTE M-WARI = (エ)
    WRITE OUT-R FROM WARI-GYO AFTER 1
    MOVE (オ)
    WRITE OUT-R FROM EVENT-GYO AFTER 1
    CLOSE KIROKU-F OUT-F
    STOP RUN.
    
```

【5】 選手番号と50m走および立ち幅跳びのデータを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

(第1図)

実行形式

(第2図)

処理条件

(1) 第2図のデータ入力欄に、選手番号から立ち幅跳びまでのデータを入力し、「処理」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。

- ① 50m走と立ち幅跳びの最高記録と平均記録を求め、Label1～Label4に表示する。
- ② 平均記録は、次の計算式で求め、小数第1位まで表示する。

$$\text{平均記録} = \frac{\text{記録の合計}}{\text{人数}}$$

(2) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Nin\_Kei + 1
- イ. S\_50 >= Saikou\_50
- ウ. Saikou\_Tati = Goukei\_Tati
- エ. Goukei\_50 / Nin\_Kei
- オ. Goukei\_50 + Goukei\_Tati
- カ. Goukei\_Tati = 0
- キ. Saikou\_50 / Nin\_Kei
- ク. Saikou\_Tati = S\_Tati
- ケ. S\_50 <= Saikou\_50
- コ. Goukei\_Tati = 999999

```
Option Explicit
Dim Saikou_50 As Single
Dim Saikou_Tati As Integer
Dim Goukei_50 As Single
Dim Goukei_Tati As Long
Dim Nin_Kei As Integer
```

```
Private Sub Form_Load()
    Saikou_50 = 99.9
    Saikou_Tati = 0
    Goukei_50 = 0
    (1)
    Nin_Kei = 0
    Call Syokyo
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
    Label4.Caption = ""
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (処理)
    Dim S_Ban As String
    Dim S_50 As Single
    Dim S_Tati As Integer
    Dim Hei_50, Hei_Tati As Single
    S_Ban = Text1.Text
    S_50 = Val(Text2.Text)
    S_Tati = Val(Text3.Text)
    If (2) Then
        Saikou_50 = S_50
    End If
    If S_Tati >= Saikou_Tati Then
        (3)
    End If
    Nin_Kei = (4)
    Goukei_50 = Goukei_50 + S_50
    Goukei_Tati = Goukei_Tati + S_Tati
    Hei_50 = (5)
    Hei_Tati = Goukei_Tati / Nin_Kei
    Label1.Caption = Format(Saikou_50, "#0.0")
    Label2.Caption = Format(Hei_50, "#0.0")
    Label3.Caption = Format(Saikou_Tati, "##0")
    Label4.Caption = Format(Hei_Tati, "##0.0")
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub
```

```
Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Text3.Text = ""
End Sub
```

【6】 第1図のようなある旅行会社の1か月分の海外旅行キャンセル内容を記録したデータを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示する。第6図の流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

旅行先 (K_Ryoko)	キャンセル日数 (K_Can)	旅行代金 (K_Kin)	事情 (K_Jijo)
×~×	××	×~×	×~×

(第1図)

処理条件

(1) キャンセル料率は第3図のとおりとする。なお、キャンセル日数は最大で99日とする。

キャンセル日数	キャンセル料率
30日前~99日前まで	無料
15日前~29日前まで	旅行代金の 5%
3日前~14日前まで	旅行代金の 20%
1日前~2日前まで	旅行代金の 50%
当日	旅行代金の100%

(第3図)

(2) フォームロード時に第3図をもとに、第4図の配列 Kesi, 配列 Ritu に値を記憶する。なお、第4図の各配列は添字で対応している。

配列

	(当日)	(1~2日前)	(3~14日前)	(15~29日前)	(30~99日前)
Kesi	0	2	14	29	99
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
Ritu	100	50	20	5	0
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第4図)

(3) 第2図の「処理」ボタンをクリックすると、第1図のデータを読み、次の処理を行う。

- 第1図のキャンセル日数をもとに、第4図の配列 Kesi を探索し、該当する添字を求める。
- 求めた添字をもとに配列 Ritu を利用して、次の計算式でキャンセル料金を求め、Label1 のように表示する。  

$$\text{キャンセル料金} = \text{旅行代金} \times \text{キャンセル料率} \div 100$$
- 第1図の事情をもとに、第5図の配列 Jijo を探索し、その事情ごとに配列 Syu に人数を集計する。なお、事情は6種類あり、フォームロード時に値を記憶する。また、第5図の各配列は添字で対応している。

配列

Jijo	旅行先事情	仕事の都合	~	その他
	(1)	(2)		(6)
Syu			~	
	(1)	(2)		(6)

(第5図)

(4) データを読み終えたあと、Label2 にキャンセル料金合計を、Label3 に事情別キャンセル状況を表示し、処理を終了する。

(5) 表示に関する設定は、第2図のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

実行形式

キャンセル料金計算表

旅行先	事情	キャンセル料金	キャンセル料金合計
イタリア	仕事の都合	28,600	368,500
イラン	旅行先事情	42,500	
?	?	?	

(Label1) (Label2)

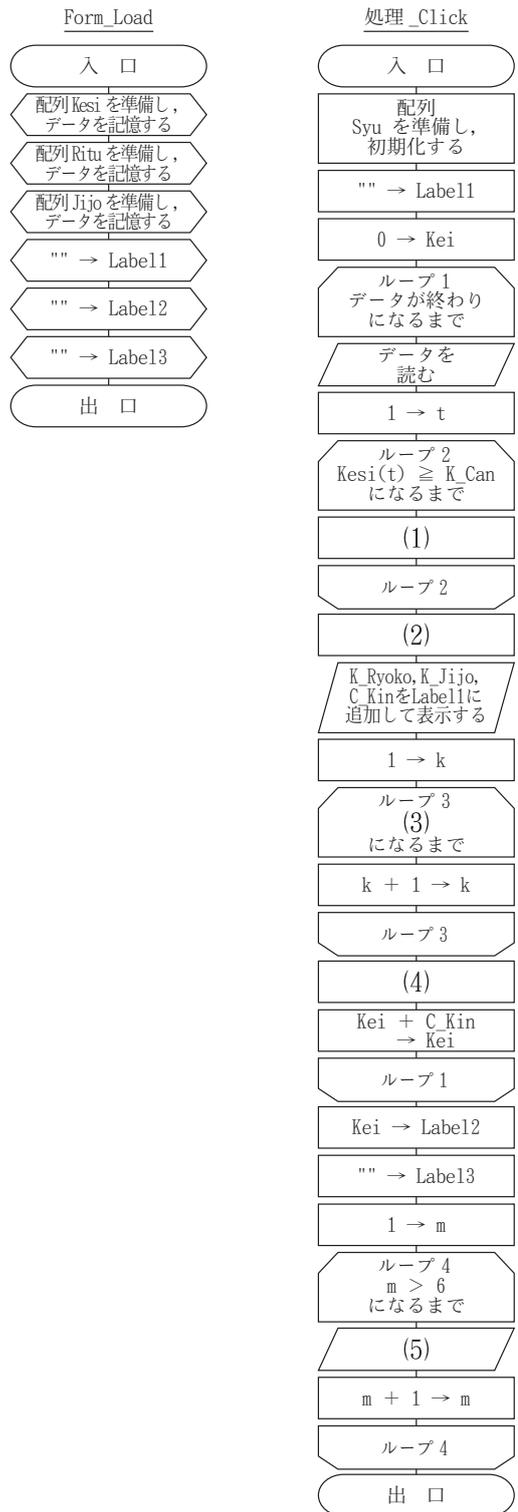
事情別キャンセル状況	
事情	人数
旅行先事情	8
仕事の都合	12
?	?
その他	5

(Label3)

処理

終了

(第2図)



(第6図)

解答群

- ア.  $t + K\_Kin \rightarrow t$
- イ.  $K\_Kin \times Ritu(t) \div 100 \rightarrow C\_Kin$
- ウ.  $Syu(k) + 1 \rightarrow Syu(k)$
- エ.  $t + 1 \rightarrow t$
- オ.  $K\_Jijo, Syu(m)$  を Label3 に追加して表示する
- カ.  $Jijo(k) < K\_Jijo$
- キ.  $Jijo(m), Syu(m)$  を Label3 に追加して表示する
- ク.  $Syu(m) + 1 \rightarrow Syu(m)$
- ケ.  $K\_Kin \times K\_Can \div 100 \rightarrow C\_Kin$
- コ.  $Jijo(k) = K\_Jijo$

【7】 ある観光施設の入場者数データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

(第1図)

実行形式

(第2図)

処理条件

(1) フォームロード時に、第3図の配列 Youbi に曜日を記憶する。

配列

Youbi	日	月	～	金	土
	(1)	(2)	～	(6)	(7)

(第3図)

(2) 第2図のように、データ入力欄に曜日コード、大人人数、こども人数を入力し、「集計」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。

① 第4図の配列 Otona に大人人数を、配列 Kodomo にこども人数を、それぞれ曜日コードを添字として集計する。なお、曜日コードは1～7であり、第3図と第4図の各配列は、それぞれ添字で対応している。

配列

Otona			～		
	(1)	(2)	～	(6)	(7)
Kodomo			～		
	(1)	(2)	～	(6)	(7)

(第4図)

② Label4の判定には、集計後のこども人数が3千人以上の場合に「○」を表示し、それ以外は何も表示しない。

③ 総計(全入場者数)に対するこども総計の割合(%)を求め、Label5に表示する。なお、割合(%)は次の計算式で求める。

$$\text{割合(\%)} = \text{こども総計} \times 100 \div \text{総計}$$

(3) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

```
Option Explicit
Dim Otona(1 To 7), Kodomo(1 To 7) As Long
Dim Sokei, Kosokei As Long
Dim Youbi(1 To 7) As String
```

```
Private Sub Form_Load()
    Dim j As Integer
    Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
    Call Syokyo
    Sokei = 0: Kosokei = 0
    For j = 1 To 7
        Otona(j) = 0
        (ア)
    Next j
    Youbi(1) = "日"
    }
    Youbi(7) = "土"
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (集計)
    Dim Otonasu, Kodomosu As Long
    Dim Cod, Ritu, s As Integer
    Cod = Val(Text1.Text)
    Otonasu = Val(Text2.Text)
    Kodomosu = Val(Text3.Text)
    Text1.Text = "": Text2.Text = "": Text3.Text = ""
    Call Syokyo
    Otona(Cod) = (イ)
    Kodomo(Cod) = Kodomo(Cod) + Kodomosu
    Sokei = Sokei + Otonasu + Kodomosu
    Kosokei = Kosokei + Kodomosu
    s = 1
    Do Until s > 7
        Label1.Caption = Label1.Caption & _
            Youbi(s) & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label2.Caption = Label2.Caption & _
            Format(Otona(s), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label3.Caption = Label3.Caption & _
            Format(Kodomo(s), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        If (ウ) Then
            Label4.Caption = Label4.Caption & _
                "○" & Chr(13) & Chr(10)
        Else
            Label4.Caption = Label4.Caption & _
                Chr(13) & Chr(10)
        End If
        (エ)
    Loop
    Ritu = (オ)
    Label5.Caption = Label5.Caption & _
        Format(Ritu, "##0")
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokyo() (消去)
    Label1.Caption = "": Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = "": Label4.Caption = ""
    Label5.Caption = ""
End Sub
```

(平成20年 9月28日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

## 平成20年度（第39回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

## 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1			問 2		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
				回		

小 計

..... [COBOL] ・ [イベント駆動型BASIC] .....

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【7】	(ア)	
	(イ)	
	(ウ)	
	(エ)	
	(オ)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小 計

合 計

選択言語を  で囲むこと

(平成20年 9月28日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

## 平成20年度 (第39回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

## 審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ク	オ	ケ	イ	カ	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	キ	ア	コ	オ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	イ	ア	ア	ウ	イ	

【4】	問1			問2			問1 各2点 問2 各3点 計15点
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
	ウ	オ	エ	3回	20	C	

小計
45

..... [COBOL] .....

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	カ	ケ	ク	ア	エ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各4点 計20点
	エ	イ	コ	ウ	キ	

【7】	(ア) KODOMO-TBL	各4点 計20点
	(イ) OTONA(COD) + NINO	
	(ウ) KODOMO(J) >= 3000	
	(エ) KOSOKEI * 100 / SOKEI	
	(オ) CNT TO M-EVENT	

試験場校名	受験番号	選択言語		小計	合計
		COBOL	イベント駆動型 BASIC	55	100

選択言語を  で囲むこと

(平成20年 9月28日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度 (第39回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】

1	2	3	4	5
ク	オ	ケ	イ	カ

各2点  
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ウ	キ	ア	コ	オ

各2点  
計10点

【3】

1	2	3	4	5
イ	ア	ア	ウ	イ

各2点  
計10点

【4】

問1			問2			小 計
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
ウ	オ	エ	3 回	20	C	

問1 各2点  
問2 各3点  
計15点

45
----

..... [イベント駆動型BASIC] .....

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
カ	ケ	ク	ア	エ

各3点  
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
エ	イ	コ	ウ	キ

各4点  
計20点

【7】

(ア)	K o d o m o ( j ) = 0
(イ)	O t o n a ( C o d ) + O t o n a s u
(ウ)	K o d o m o ( s ) > = 3 0 0 0
(エ)	s = s + 1
(オ)	K o s o k e i * 1 0 0 / S o k e i

(注) 大文字, 小文字および空白は問わない。

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語	小 計	合 計
		COBOL <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">イベント駆動型 BASIC</span>	55	100

選択言語を            で囲むこと